



Photo フォトニュース News

間寛平さん、 夢や希望を与える宝塚市大使に

3月8日、タレントの間寛平さんによる、地球一周を走破した「アースマラソン」の舞台裏を語る講演会が宝塚ホテルで開催されました。荒天に苦しみながらもマネージャーと一緒に太平洋をヨットで横断したこと、前立腺がんの治療を行いながらも走り続けたことなどのエピソードを、笑いを交えながら語りました。

講演終了後には、サプライズとして間寛平さんに市の魅力を全国に発信する「宝塚市大使」になっていただきました。

宝塚市の60年を絵本で

3月1日、宝塚市制60周年を記念して制作した絵本「宝塚市の60年」の発刊記念式を宝塚ホテルで実施しました。絵本モニターの子どもには中川市長から絵本が手渡され、制作に携わった画家の金斗鉷さん、アシスタントの東條琴枝さん、編集助言者の唐亜明さんによるトークが行われました。その後の親子図画教室では、金先生から絵や工作の楽しみ方などを教わりました。

絵本モニターの子どもたちからは、「お母さんと一緒にかくれたヒョウタンツギを探すのが楽しかったです」「今では、『家にある本のランキング』の1位です。とても気に入りました」「ほかにもいろいろないの木や花とかとてもきれいです」などの感想が早速寄せられました。

※この絵本には手塚治虫先生の漫画でおなじみの「ヒョウタンツギ」が登場しています。探してみてくださいね。



2年目職員、南三陸町へ

3月9日～12日、入庁2年目の若手職員が宮城県南三陸町へ短期派遣され、犠牲者追悼行事やわかめの芯抜きのお手伝いをしました。東日本大震災から4年、今後も宝塚から被災地への支援を続けていきます。



こちら

シンシアのまち 宝塚

3月14日、JR宝塚駅改札前コンコースでシンシアモニュメントの除幕式が行われました。介助犬シンシアは、車いす生活を送る木村佳友さんに寄り添い、身体障害者補助犬法(平成14(2002)年に施行)の制定に大きな役割を果たしました。

すべての人にやさしいまちのシンボル、シンシアモニュメントが皆さんに愛されますように。

